

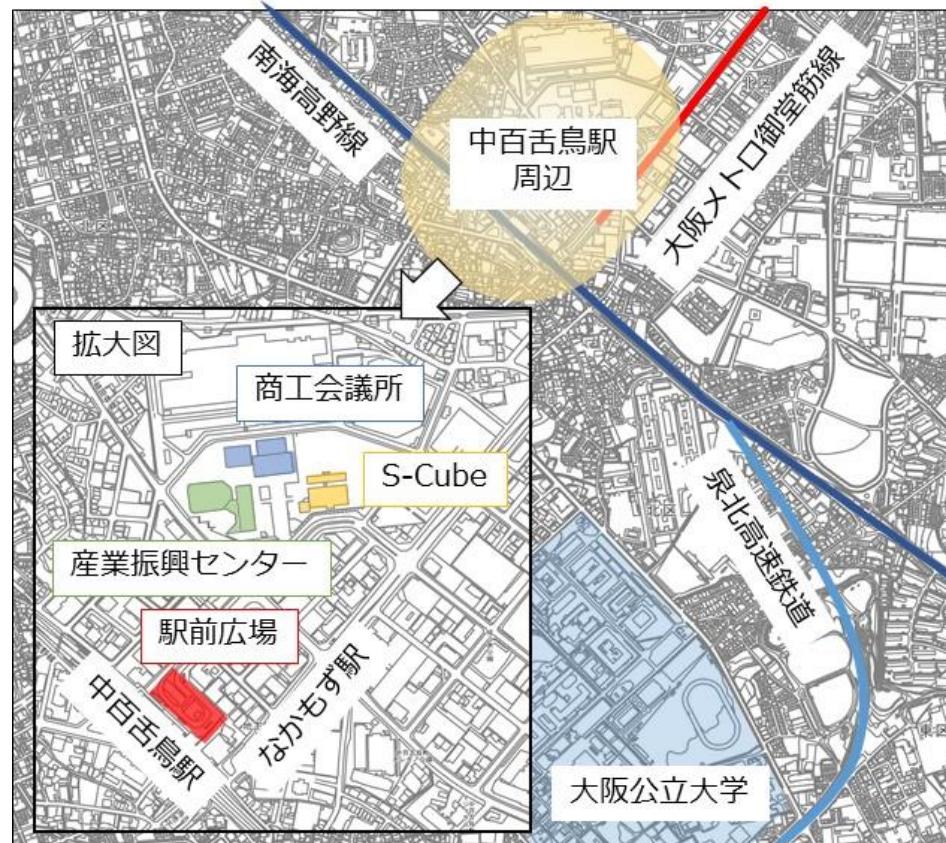
中百舌鳥駅前北側交通広場の再編について

背景と目的

○中百舌鳥駅周辺は、大阪メトロ御堂筋線、南海電気鉄道高野線や泉北高速鉄道などの交通結節点であり、大阪都心へのアクセス性の高いエリアである。土地区画整理事業等により都市基盤が整備され、産業支援機関（堺市産業振興センター・さかい新事業創造センター・堺商工会議所）や大阪公立大学中百舌鳥キャンパスが立地している。

○本市では、中百舌鳥駅周辺の活力と多様な交流を育むイノベーション創出拠点の形成をめざしており、その実現に向け、中百舌鳥駅周辺で進める成長産業や新事業を生み出すイノベーション創出の取組と相乗効果を発揮し、都市拠点にふさわしい賑わいや活力を感じられる駅前空間の創出や交通利便性の向上に取り組む。

○また、産学官連携の取組として、大学・民間事業者・産業支援機関・行政で令和3年2月に「NAKAMOZUイノベーションコア創出コンソーシアム」を設立し、中百舌鳥エリアの活性化を図るため、協力・連携し取り組んでいる。



■ 上位計画における中百舌鳥駅周辺の位置づけ

・ 堺市基本計画2025

中百舌鳥エリアで進める成長産業や新事業を生み出すイノベーション創出の取組と相乗効果を発揮し、都市拠点にふさわしい賑わいや活力を感じられる駅前空間の創出や交通利便性の向上に取り組む。

・ 堺市都市計画マスタープラン

新たな産業の拠点、交通結節点にふさわしい、多様な人々の交流と賑わいが生まれるエリアをめざし、交通事業者などと連携しながら、駅周辺の低未利用地の活用により、業務・商業機能や交流・集客等を生み出す都市機能の充実を図る。

駅前広場再編の考え方

○都市拠点にふさわしい賑わいや活力を感じられる駅前空間の創出に向けて、駅が持つ「交通結節点機能」、「都市の拠点機能」、「玄関口としてのシンボル機能」を強化するため、駅前広場を再編する。

利用者の利便性向上に資する乗り継ぎ改善

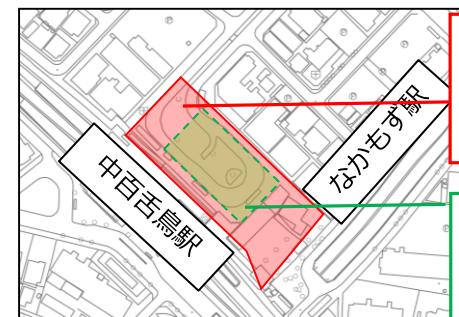
公民連携による賑わいや魅力の創出

居心地がよく歩きたくなるウォークブルな駅前空間の形成

駅前広場の一部を土地利用転換することにより、交通結節点の機能向上や民間活力の活用、回遊性の向上等につなげ、賑わいと多様な交流を育む拠点の創出や中百舌鳥周辺全体の価値の向上を図る



■ 現況



中百舌鳥駅前線
北側交通広場
S55年5月 都市計画変更
約7,100㎡

中百舌鳥駅前第3
地下自転車駐車場
H4年8月 都市計画決定
約3,100㎡ 2,000台

(地区計画)
中百舌鳥駅前地区地区計画
(用途地域)
商業地域(防火地域)
(建蔽率)
80%
(容積率)
地区計画により敷地面積に応じて400%~600%

平成15年5月30日に換地処分の公告
(長曾根・中百舌鳥(中百舌鳥駅前)土地区画整理事業)

■ 課題

- ・ 南海電鉄中百舌鳥駅と大阪メトロなかもず駅との乗り継ぎ利便性に課題がある。
- ・ 駅前広場利用者が多いものの、集客施設が少なく、賑わいを創出できていない。

今後のスケジュール

- ・ 令和4年度 公募型サウンディング市場調査の実施
- ・ 令和5年度 都市計画変更素案の報告
- ・ 令和6年度 都市計画変更案の付議